

## 経営改革に係る取組み等について

団体名 (公財)松山市体育協会

平成27年3月31日現在

## 1. サービス向上に向けた取組み(主なもの)

(単位:千円)

取組目標	①えひめ国体の成功に向けPR活動を行うとともに、ジュニア世代の育成強化を積極的に支援する。	
具体的な取組内容等	<p>平成29年(2017年)のえひめ国体において、地元から活躍できる選手を数多く輩出することを目的に、関係種目団体が行う競技力向上に向けた取組みのうち、地域スポーツの普及発展並びにえひめ国体の円滑な運営をサポートするため、各種補助金を交付した。</p> <p>【愛媛国体振興事業(各種補助制度:内容・実績)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○合宿・遠征補助制度(※対象:ターゲットエイジ) …県外で行われ、かつ宿泊を伴う合宿遠征に対し1人5,000円を補助 ⇒【平成26年度:23名利用:115,000円支出】</li> <li>○大会開催費補助制度(※対象:えひめ国体正式競技種目) …主として小中学生を対象とする大会を松山市で開催した場合に経費の一部を補助(上限50,000円) ⇒【平成26年度:4団体:170,231円】</li> <li>○交流会開催費補助制度 …松山市スポーツ少年団主催大会で上位チームを対象に交流会を開催した場合、その経費の一部を補助(上限50,000円) ⇒【平成26年度:3種目:150,000円】</li> <li>○審判員資格取得費補助制度 …地域スポーツの普及発展並びに2017年に迫るえひめ国体の円滑な運営をサポートするため、新たに審判員資格を取得する場合、その経費の一部を補助。 ⇒【平成26年度:3団体:391,000円】</li> </ul> <p>【えひめ国体開催PR】 えひめ国体の機運の醸成に向け、本会主催イベント会場において、マスコットキャラクター「みきゃん」を活用したPR活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○坊っちゃんランランランでのPR 実施日:平成26年12月6日(参加者:4,232人)</li> <li>○新春城山登山マラソンでのPR 実施日:平成27年1月1日(参加者:1,466人)</li> <li>○まつやまスポーツフォーラム2015でのPR 実施日:平成27年2月8日(参加者:165人)</li> <li>○早春ふれあいウォークでのPR 実施日:平成27年3月15日(参加者:1,100人)</li> </ul>	<p>効果額 (※表せる場合のみ)</p> <p>—</p>
取組目標	②幼児期に様々なスポーツに触れる場を提供し、将来のアスリートの発掘、スポーツ人口の増加を目指す。	
具体的な取組内容等	<p>幼少期にスポーツに親しむことの重要性に着眼し、健康な体と強く豊かな心を育むことを目的に、本加盟種目団体の協力のもと、キッズスポーツクラブ《つばさ》を開催。</p> <p>参加募集は前年度からの希望者へ案内した。 参加者は、集団行動を通して自主性・積極性・社会性の習得を図ったほか、将来におけるスポーツ活動のきっかけづくりとなり、事業終了後に実施したアンケート結果からも好評を得た事業となった。 なお、今年度については、小学1年生の部、小学2・3年生の部の二部門に分け、それぞれの運動レベルに応じた内容で実施した。</p> <p>【H26《つばさ》概要】 体験種目:12種目 (陸上・ラグビー・エアロビクス・スポーツチャンバラ・空手・体操 新体操・テニス・水泳・サッカー・バスケットボール・つばさオリジナル) 延べ参加者数:585名</p> <p>【参考:アンケート結果】 教室の内容に満足の方 ⇒ 約95% 参加した保護者の意見 ・つばさで体験したテニスが楽しく、スクールに通うきっかけになった。 ・スポーツを通じて、体力面や協調性を養うことが出来たと思います。 競争心を持つようにもなった。</p>	<p>効果額 (※表せる場合のみ)</p> <p>—</p>

取組目標	③坊っちゃんランラン大会において、参加者が安全かつ快適に走行できる環境を整備するとともに、魅力ある大会づくりに努める。	
具体的な取組内容等	坊っちゃんランラン大会はタイムトライアル重視ではなく、川沿いの景色を眺めながらのんびりと走っていただくことをコンセプトとしていることから、今大会では午後のハーフマラソンの部及び10kmの部では計測無とすることで、マラソン初心者でも気軽に参加できるよう配慮した。 また、今大会もゲストとして土佐礼子氏を招聘し会場を盛り上げていただく一方、飲食ブースを設ける等、参加者のみならず応援に来られている方にも楽しめる大会づくりに努めている。 さらに、今回も「車いすマラソン」を開催し、障がいの有無に関わらずスポーツに汗を流していただける環境づくりに努めた。 その結果、今大会も4,000人を超えるエントリーを記録し、大会そのものも成功裏に終わったが、エイドステーションでの課題等が見つかったため、以後、改善策を講じ更なる参加者満足度向上に努めていく。	効果額 (※表せる場合のみ)
	【大会エントリー者数(推移)】 第12回(H24)⇒4,154人 第13回(H25)⇒4,941人 第14回(H26)⇒4,232人	—

## 2. 経費縮減に向けた取組み(主なもの)

(単位:千円)

取組目標	既存事業をゼロベースで見直し経費の縮減に努める。	区分
		<input type="checkbox"/> 人件費
		<input checked="" type="checkbox"/> その他経費
具体的な取組内容等	事業について見直しを行うとともに、施設管理に伴う光熱水費等の見直しも積極的に行い経費の縮減に努めた。  【主な縮減箇所】 施設管理に伴う光熱水費 約204千円の減 施設管理に伴う消耗品費 約89千円の減	効果額(概算)
		約293千円の縮減

## 3. 収入財源確保に向けた取組み(主なもの)

(単位:千円)

取組目標	①税制改正による税額控除を選択するための要件を満たすよう努める。	
具体的な取組内容等	公益財団法人の税額控除の要件には、年に3,000円以上を支出した寄附者が各年平均100名以上存することとされている。従来から、本会の活動にご理解・ご賛同を得た個人・団体には賛助会員になっていただいております。控除要件達成を目指しているが未だ成されていないため、今後も引き続き取組んでいく。	実績額(概算)
		—
取組目標	②他団体が実施している各種補助制度を積極的に活用する。	
具体的な取組内容等	公益財団法人JKAが行う、補助事業(競輪・オートレースの収益を広く社会に還元し、社会貢献を果たすため、地方自治体が施行する競輪・オートレースの売上げの一部により公益事業振興に対する補助を行うもの)の要望申請を行い、平成27年度に実施する事業について補助金の交付が内定している。 今後は、補助対象事業を遅滞なく実施・報告していくとともに、各種補助制度を積極的に活用していく。	実績額(概算)
		—

## 4. 団体の自己評価

事業・経営評価	目的の達成状況		評価根拠
	<input type="checkbox"/>	達成できた	
<input checked="" type="checkbox"/>	概ね達成できた		
<input type="checkbox"/>	達成できていない部分がある		
<input type="checkbox"/>	達成できなかった		